

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和4年7月28日(2022.7.28)

【公開番号】特開2022-64987(P2022-64987A)

【公開日】令和4年4月26日(2022.4.26)

【年通号数】公開公報(特許)2022-075

【出願番号】特願2022-15381(P2022-15381)

【国際特許分類】

G 06 F 3/01(2006.01)

10

G 06 T 19/00(2011.01)

G 06 T 7/70(2017.01)

G 09 G 5/00(2006.01)

G 09 G 5/02(2006.01)

G 09 G 5/10(2006.01)

G 09 G 5/36(2006.01)

【F I】

G 06 F 3/01 510

G 06 T 19/00 A

20

G 06 T 7/70 B

G 09 G 5/00 510 A

G 09 G 5/00 510 V

G 09 G 5/00 550 C

G 09 G 5/02 B

G 09 G 5/10 B

G 09 G 5/36 510 V

G 09 G 5/36 520 E

G 09 G 5/36 530 Y

【手続補正書】

30

【提出日】令和4年7月19日(2022.7.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つのディスプレイスクリーンと、

前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンに結合され、かつ観察者の視線に関連するデータをキャプチャするように構成される視線検出カメラと、
40

前記少なくとも1つのディスプレイスクリーン及び前記視線検出カメラに結合される少なくとも1つのプロセッサと

を備え、前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記観察者の視線が向けられている前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける視線位置を決定すること、

決定された視線位置に応じて、多分岐動画の分岐を選択すること、

前記決定された視線位置に応じて、前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択すること、及び

前記表示位置において前記多分岐動画の選択された分岐を表示すること

50

を行うように構成される、システム。

【請求項 2】

少なくとも 1 つのディスプレイスクリーンと、

前記少なくとも 1 つのディスプレイスクリーンに結合され、かつ観察者の視線に関連するデータをキャプチャするように構成される視線検出カメラと、

前記少なくとも 1 つのディスプレイスクリーン及び前記視線検出カメラに結合される少なくとも 1 つのプロセッサと

を備え、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記観察者の視線が向けられている前記少なくとも 1 つのディスプレイスクリーンにおける視線位置を決定すること、

前記決定された視線位置に応じて前記少なくとも 1 つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択すること、及び

前記表示位置において表示された動画像内のスプライトの移動又はスプライトの移動中止を引き起こすこと

を行うように構成される、システム。

【請求項 3】

前記表示位置は前記視線位置に対応し、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、前記視線位置における前記スプライトの移動を引き起こすように構成される、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、前記視線位置とは異なる別の位置において前記スプライトの移動を引き起こすように構成される、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記表示位置は前記視線位置に対応し、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、前記視線位置における前記スプライトの移動中止を引き起こすように構成される、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 6】

少なくとも 1 つのディスプレイスクリーンと、

前記少なくとも 1 つのディスプレイスクリーンに結合され、かつ観察者の視線に関連するデータをキャプチャするように構成される視線検出カメラと、

前記少なくとも 1 つのディスプレイスクリーン及び前記視線検出カメラに結合される少なくとも 1 つのプロセッサと

を備え、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記観察者の視線が向けられている前記少なくとも 1 つのディスプレイスクリーンにおける視線位置を決定すること、

前記決定された視線位置に応じて前記少なくとも 1 つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択すること、及び

前記表示位置において表示された動画像の一部における輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度を変化させること

を行うように構成される、システム。

【請求項 7】

前記動画像の一部は、前記動画像の全体よりも小さい、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記表示位置は、前記視線位置に対応する、請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記表示位置は、前記視線位置とは異なる別の位置に対応する、請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 10】

輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度を変化させることは、前記表示位置において表示された前記動画像の一部における前記輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩

10

20

30

40

50

度を増加させることを含み、前記少なくとも1つのプロセッサは、次に、前記表示位置において表示された前記動画像の一部における前記輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度の増加に応じて、前記動画像の別の部分の前記輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度を変化させるように構成される、請求項7に記載のシステム。

【請求項11】

少なくとも1つのディスプレイスクリーンと、
前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンに結合され、かつ観察者の視線に関連するデータをキャプチャするように構成される視線検出カメラと、

前記少なくとも1つのディスプレイスクリーン及び前記視線検出カメラに結合される少なくとも1つのプロセッサと
10

を備え、前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記観察者の視線が向けられている前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける視線位置を決定すること、

前記決定された視線位置に応じて、前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択すること、及び

前記表示位置において表示された動画像の鮮明さを変化させることであって、前記表示位置は前記視線位置とは異なる第1の位置に対応すること

を行うように構成される、システム。

【請求項12】

前記少なくとも1つのプロセッサは、前記表示位置が前記視線位置に対応すると決定することに応答して、前記第1の位置とは異なる第2の位置において表示された前記動画像の前記鮮明さを変化させるように構成される、請求項11に記載のシステム。
20

【請求項13】

観察者の視線に関連するデータをキャプチャするステップと、

前記観察者の視線が向けられている少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける視線位置を決定するステップと、

決定された視線位置に応じて、多分岐動画の分岐を選択するステップと、

前記決定された視線位置に応じて、前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択するステップと、

前記表示位置において前記多分岐動画の選択された分岐を表示するステップと
30

を含む、方法。

【請求項14】

観察者の視線に関連するデータをキャプチャするステップと、

前記観察者の視線が向けられている少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける視線位置を決定するステップと、

前記決定された視線位置応じて前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択するステップと、

前記表示位置において表示された動画像内のスプライトの移動又はスプライトの移動中止を引き起こすステップと
40

を含む、方法。

【請求項15】

前記表示位置は前記視線位置に対応し、前記方法は、前記視線位置における前記スプライトの移動を引き起こすステップを含む、請求項14に記載の方法。

【請求項16】

前記視線位置とは異なる別の位置において前記スプライトの移動を引き起こすステップを含む、請求項14に記載の方法。

【請求項17】

前記表示位置は前記視線位置に対応し、前記方法は、前記視線位置における前記スプライトの移動中止を引き起こすステップを含む、請求項14に記載の方法。

【請求項18】

10

20

30

40

50

観察者の視線に関連するデータをキャプチャするステップと、
前記観察者の視線が向けられている少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける視線位置を決定するステップと、
前記決定された視線位置応じて前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択するステップと、
前記表示位置において表示された動画像の一部における輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度を変化させるステップと
を含む、方法。

【請求項19】

前記動画像の一部は、前記動画像の全体よりも小さい、請求項18に記載の方法。 10

【請求項20】

前記表示位置は、前記視線位置に対応する、請求項19に記載の方法。

【請求項21】

前記表示位置は、前記視線位置とは異なる別の位置に対応する、請求項19に記載の方法。
。

【請求項22】

輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度を変化させるステップは、前記表示位置において表示された前記動画像の一部の前記輝度又はコントラストを増加させることを含み、次に、前記表示位置において表示された前記動画像の一部の前記輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度の増加に応じて、別の部分の前記輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度を変化させることを含む、請求項19に記載の方法。 20

【請求項23】

観察者の視線に関連するデータをキャプチャするステップと、

前記観察者の視線が向けられている少なくとも1つのディスプレイスクリーンの視線位置を決定するステップと、

決定された視線位置に応じて、前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択するステップと、

前記表示位置において表示された動画像内の鮮明さを変化させるステップであって、前記表示位置は前記視線位置とは異なる第1の位置に対応するステップと
を含む、方法。 30

【請求項24】

前記視線位置が移動して、前記表示位置に対応すると決定することに応答して、前記第1の位置とは異なる第2の位置において表示された動画像の前記鮮明さを変化させるステップを含む、請求項23に記載の方法。

【請求項25】

少なくとも1つのプロセッサによって実行されるように構成されるプログラム命令が具現化される非一時的なプロセッサ可読媒体であって、前記少なくとも1つのプロセッサによって実行されると、前記プログラム命令は、前記少なくとも1つのプロセッサによって、観察者の視線に関連するデータをキャプチャすること、

前記観察者の視線が向けられている少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける視線位置を決定すること、

決定された視線位置に応じて、多分岐動画の分岐を選択すること、

前記決定された視線位置に応じて、前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択すること、及び

前記表示位置において前記多分岐動画の選択された分岐を表示すること
を行わせる、非一時的なプロセッサ可読媒体。

【請求項26】

少なくとも1つのプロセッサによって実行されるように構成されるプログラム命令が具現化される非一時的なプロセッサ可読媒体であって、前記少なくとも1つのプロセッサによって実行されると、前記プログラム命令は、前記少なくとも1つのプロセッサによって、

観察者の視線に関連するデータをキャプチャすること、
前記観察者の視線が向けられている少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける視線位置を決定すること、
前記決定された視線位置に応じて、前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択すること、及び
前記表示位置において表示された動画像内のスプライトの移動又はスプライトの移動中止を引き起こすこと
を行わせる、非一時的なプロセッサ可読媒体。

【請求項27】

前記表示位置は前記視線位置に対応し、前記プログラム命令は、前記少なくとも1つのプロセッサによって、前記視線位置における前記スプライトの移動を引き起こすことを行わせる、請求項26に記載の非一時的なプロセッサ可読媒体。 10

【請求項28】

前記プログラム命令は、前記少なくとも1つのプロセッサによって、前記視線位置とは異なる別の位置において前記スプライトの移動を引き起こすことを行わせる、請求項26に記載の非一時的なプロセッサ可読媒体。

【請求項29】

前記表示位置は前記視線位置に対応し、前記視線位置における前記スプライトの移動中止を引き起こすことを含む、請求項26に記載の非一時的なプロセッサ可読媒体。

【請求項30】

少なくとも1つのプロセッサによって実行されるように構成されるプログラム命令が具現化される非一時的なプロセッサ可読媒体であって、前記少なくとも1つのプロセッサによって実行されると、前記プログラム命令は、前記少なくとも1つのプロセッサによって、観察者の視線に関連するデータをキャプチャすること、

前記観察者の視線が向けられている少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける視線位置を決定すること、

前記決定された視線位置に応じて、前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択すること、及び

前記表示位置において表示された動画像の一部における輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度を変化させることであって、前記一部は前記動画像の全体よりも小さいことを行わせる、非一時的なプロセッサ可読媒体。 30

【請求項31】

前記表示位置は、前記視線位置に対応する、請求項30に記載の非一時的なプロセッサ可読媒体。

【請求項32】

前記表示位置は、前記視線位置とは異なる別の位置に対応する、請求項30に記載の非一時的なプロセッサ可読媒体。

【請求項33】

輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度を変化させることは、前記表示位置において表示された前記動画像の一部の前記輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度を増加させることを含み、前記プログラム命令は、前記少なくとも1つのプロセッサによって、次に、前記表示位置において表示された前記動画像の一部の前記輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度の増加に応じて、別の部分の前記輝度又はコントラスト又は色バランス又は彩度を変化させることを行わせる、請求項30に記載の非一時的なプロセッサ可読媒体。 40

【請求項34】

少なくとも1つのプロセッサによって実行されるように構成されるプログラム命令が具現化される非一時的なプロセッサ可読媒体であって、前記少なくとも1つのプロセッサによって実行されると、前記プログラム命令は、前記少なくとも1つのプロセッサによって、観察者の視線に関連するデータをキャプチャすること、

10

20

30

40

50

前記観察者の視線が向けられている少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける視線位置を決定すること、

前記決定された視線位置に応じて、前記少なくとも1つのディスプレイスクリーンにおける表示位置を選択すること、及び

前記表示位置において表示された動画像内の鮮明さを変化させることであって、前記表示位置は前記視線位置とは異なる第1の位置に対応すること

を行わせる、非一時的なプロセッサ可読媒体。

【請求項35】

前記プログラム命令は、前記少なくとも1つのプロセッサによって、前記視線位置が移動して、前記表示位置に対応すると決定することに応答して、前記第1の位置とは異なる第2の位置において表示された動画像の前記鮮明さを変化させることを行わせる、請求項34に記載の非一時的なプロセッサ可読媒体。

10

20

30

40

50